

第7回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会  
教育活動・学校事務部会（会議録）

会議の名称 第7回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会  
教育活動・学校事務部会  
開催日時 令和6年5月20日（月） 午後7時45分から  
開催場所 岩村コミュニティセンター 大ホール  
議題 課題整理シートの確認  
公開非公開の別 公開  
出席者 委員

平林 道博  
夏目 裕行  
近藤 晃幹  
藤田 みのり  
鈴木 真弓  
川上 容子  
小林 康予  
片桐 宣伸  
後藤 琢磨  
深谷 友康  
各務 美穂  
加藤 淳  
近松 彩子  
松田 正  
梶屋 明広  
松井 克仁  
小栗 史也  
三浦 祐揮  
藤田 航平  
榎本 草平  
鈴木 直樹  
藤野 貴子  
増田 尚子

教育委員会  
郷田 賢

各務 恵美  
小木曾 健  
小島 光太郎  
岩島 慶尚

会議の内容 会議録のとおり  
傍聴者の数 6名

事務局 (中断) 山岡中学校の校長先生に部会長、上矢作中学校の校長先生に副会長ということで引き受けていただいたというような流れがあったということを引き継いでおります。

そういった意向から考えますと、1つ候補としては、山岡中学校の校長の後藤校長先生に、そのまま部会長のほうを引き継いでいただき、上矢作中学校の深谷校長先生に副部会長のほうを引き受けていただくというのが1つの案かなというふうに思いますけど、後藤校長先生、深谷校長先生、もしそのときには可能でございましょうか。

両校長 はい。

事務局 そういったお2人の校長の意向はありますけれども、一応、互選ということでございますので、もし何かご意見等あれば、ここでお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。(「いいと思います」「異議なしで」と呼ぶ者あり)

事務局 よろしいですか。では、部会長のほうを山岡中学校の校長の後藤校長先生に、副部会長の方を上矢作中学校の深谷校長先生のほうにお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

そうしましたら、お2人、こちら前のほうへご移動ください。こちらから進行のほう、副部会長さんにお渡ししたいと思います。

副部会長 それでは、私、上矢作中学校の校長の深谷と言います。進行のほうを進めさせていただきます。よろしくお願ひします。

では、まず最初に部会長挨拶で、後藤校長先生お願ひします。

部会長 皆さん、こんばんは。今、部会長を任命させていただきました山岡で生まれ育って、今、山岡中学校の校長に赴任させてもらいました後藤琢磨と申します。よく知った顔の方もいらして本当に心強い限りです。2年後の、もう今この段階では、もう既に新しい学校がスタートしているという運びになろうかと思っておりますので、そうしますと、本当に長いようで、大変短くて、具体的な形をたくさんどんどん決めていかないと本当に間に合わないと思います。議論をどんどん深めて、より具体的で、よりよい形の活動を創っていきたく思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

副部会長 ありがとうございます。それでは、自己紹介とあります。初めての方もみえますので、お名前程度で構いませんので、それぞれ自己紹介をしていただきたいと思います。こちらから順番にぐるっというふうな流れでよろしいでしょうか。最後に、じゃあ事務局をとということで、では、お願いします。

(自己紹介)

副部会長 それでは、レジュメ4番のほうに入っていきたいと思います。議題調整シートの確認になります。事務局のほうでお願いします。

事務局 それでは、私のほうから、課題整理シートに沿ってお話をさせていただきます。3ページから順にご覧になりながらお聞きください。座ったままで失礼いたします。

まず初めに、報告になりますけれども、前回の第6回のこの教育活動学校事務部会が終わってからでございますけれども、令和5年度のこの会でいただいた皆さんの意見について、今年度は、5校の校長先生、教頭先生、教務主任の先生方からなる学校統合実務推進委員会という組織を立ち上げました。そちらに皆様の意見をお伝えして、具体的な学校教育に関わる計画の作成等を進めていただき、今後の計画の具体化を図っていきたくて考えております。今後、こちらの部会では、その経過の確認ですとか、必要に応じて皆様からのご意見を伺う機会というのが、今年度多くなってくるのかなと考えております。そういったふうで動いておりますので、ご承知おきください。

では、次に、課題整理シートの中身について、昨年度に協議したことや、今年度に協議することについて確認をしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

議題16の教育課程と教育内容に関することについてです。

今年度入学した1年生については、統合したとき、令和8年度の3年生になりますので、今まで各校でばらばらであった各教科の問題集ですとか、ワーク等の補助教材について、今年度から調整を行い、共通したものを使用するように計画をして進めております。また、教育課程の中で、総合的な学習の時間というのがありますけれども、この中では、地域を知り、地域を愛する生徒を育てるための教育活動の中心となることを念頭に置いていただいて、ここは外さないでくださいということをお伝えしながら、具体的な計画づくりに入っています。その他の教育課程等については、学校を中心に検討事項や計画を作成しています。

先ほどもお伝えしたように、その進捗状況等について、こちらの部会にお伝えをさせていただきながら、よりよいものになるようなご意見等があればいただ

いて、またそれを実務推進委員会のほうにお伝えをして、作業を進めていっていただきたいと考えています。

続いて、議題17、学校行事に関することについてです。

こちらは、令和8年度に統合してからの学校行事についてです。統合校の修学旅行などの宿泊を伴うような旅行的行事については、5つの中学校の教頭、教務を中心に、現在の学校の現状等を踏まえて話し合いを進めております。各校でどんな行事を行っているのか、どんな内容なのかということ踏まえて、新しい学校の計画づくりを今後進めています。

今年度は、学校で具体的な計画作成を進めていきますけれども、早速この実務推進委員会の中で出た意見として、修学旅行についてはかなり早い段階で宿泊場所を取っていかないと、令和8年度になって取っているということでは間に合わないということもありましたので、今年度から早い段階で、こんな方向で進めていますというようなお話が出てくるのではないかと考えております。

では、議題の18です。生徒会に関することについてです。

生徒会同士の交流については、昨年度もウェブによる交流というのを行ってありますが、令和6年度も引き続き、生徒会同士の交流というのを行っていきます。令和5年度よりも、こちらは回数を増やしまして、月に1回ぐらいのペースでウェブによる交流というのを行っていこうということで計画を進めております。

内容としましては、各校の生徒会のスローガンですとか、活動内容や行事について各校の様子を紹介し合ったりですとか、アイデアを交流したりしていきたいと考えております。

こうした生徒会の交流によって、生徒同士が知り合いになったりですとか、それぞれの各校のよさを取り入れたりしながら、統合中学校の一体感、そういったものが早いうちから持てるようにということを意図して進めていきたいと考えております。

また、毎年行われております恵那市議会が主催の「中学生と恵那市の未来を語る会」というのがありますけれども、この語る会についても、各学校の役員、生徒会役員の方が参加して、テーマに基づいた提案等を行っておりますので、こういったところでも、互いの学校のよさを知る機会として役立てていきたいと考えております。

生徒会についての今後のスケジュールですけれども、生徒会については、生徒が主体となって検討していくのがよいというふうに考えておりますので、生徒会の役員の生徒が、生徒会として実施する活動ですとか、その役員の構成であったり、その決定の方法など、どのような生徒会にしていくのがいいのかということ、生徒主体で交流しながら検討を進めていくのがよいというふうに考

えております。

この部会でも、その生徒たちの話合いの状況というのをお伝えして、また必要に応じてご意見のほうを伺っていきたいというふうに考えております。

では、議題19の交流事業に関することについてです。

本日の総会の中でも、ここについては話が出ておりましたけれども、今年度、5校の交流については、中学校の1年生は10月22日火曜日と、日にちも計画がはっきりして進んできております。

各中学校で計画をしたレクリエーション5つを山岡中学校で行ってはどうかという方向で今進んでいるところです。そして、山岡中学校の校舎の見学なども行う予定です。

そして、年が明けますけれども、3月19日の水曜日に2回目を行えないかということで調整を進めているところです。

この2回の交流が中学生を中心にして円滑に進行できるように、職員の打合わせも8回ほど入れられるようにということで、今計画を立てて進めているところです。生徒の打合わせも8回ということで、合計16回の打合わせ、こういったものを取り入れながら交流の事業のほうは進めていきたいというふうになっております。この打合わせの段階から既に交流かなと自分は思いますけれども、いい機会になるのではないかというふうに思っております。

こちらの部会では、もう今年度中にこういった事業が進みますので、計画の段階だけではなくて、実際に交流したときの様子ですとかもお伝えしながら、子供たちの様子、そういったところもお伝えしていきながら、よりよい交流等について、もしいいアイデアがもらえれば、そのようなものも取り入れながら充実させていくことができると考えております。

議題の20番です。学校備品・教材備品の整備に関することについてです。

こちらは、学校の備品・教材等の整理ということで、学校の専門的なところに入っていきますので、基本的には、学校の職員のほうで進めてもらいながらということが中心になってくるかと思えます。

こちらの部会では、そういった整備をしてくる中で、例えば、新たに購入しなければいけないものとかについての意見、そういったところを伺ったほうがいいというような状況が出たときには、ご意見を伺ったりですとか、逆に、5校が統合することで不要となるような備品のほうも出てくるかと思えます。

そのような使わない備品について、恵那市内の他の学校ですとか、公共施設で利用するというのも考えられるんですけども、それでも、やはりちょっともう捨てるしかないのかなというときも出てくるかと思えます。もしそういったところで、いい対応の仕方等があればご意見をいただきたいと思っています。

現在は、各学校で保有している備品の数ですとか、その備品の状態ですとかを順次把握していただけるようにということで、学校のほうに作業を進めていただいております。

そうは言いましても、普段の生活の中では、なかなか先生方もそこに時間を割くというのは難しいところがありますので、このリストアップには少し時間を要するのかなということを思っております。そういった備品のリストアップ等が終わった後で、部会で検討を進めていければと考えております。

予定としては、今年の9月頃ということで、これもこの部会の中では早めに皆さんで意見検討をしなければいけない内容の1つかなというふうに思っておりますけれども、ただ、そこで全て決められるわけではなくて、例えば、保健室や図書室などは設計が進んでいかないと、どんなものをどのくらい置けるのかというようなことの検討ができないような内容もありますので、9月で全てということではなくて、そういった進行とも合わせながら、適宜皆さんにも報告させていただきながら検討を進めていくということを考えております。皆さんの不安がないように進めていければと思っております。

続いて、議題の21番になります。学校図書館に関することについてです。

こちらの学校図書館に関することについては、広いスペース、圧迫感がなく開放的で入りやすい明るく広い空間、利用しやすい環境づくり、快適な空間づくりといったご意見を昨年度はこちらでたくさんいただき、現在この案を基にしながら、設計業者のほうでイメージ図を作成していただいて、設計のほうに取り入れていただいているという段階でございます。

今後は、本の移動ですとか、廃棄する本がどのくらいになるのか、また購入する本はどのくらいの量になるのか等の管理のほうになっていきますけれども、こういったところの実務につきましては、学校の図書館の司書の方がみえますので、そういった方の協力をお願いしながら、司書を中心に進めていただくと予定でいます。ですので、こちらの部会では、そういったところの中で、全体で本がどのくらいになりそうですよということですので、そういったところについて報告をさせていただこうと思っております。

また、階段ですとか出入口の位置ですとか、内部構造がはっきりしてくると、図書館についてのレイアウトについても具体的になってくるかと思っておりますので、その予定が、今のところ、今年の夏から秋ぐらいになるのではないかというふうに聞いております。そういったところで、図書室内のレイアウトについて、あと皆さんからご意見をいただいくことになるかと思っております。それが21番になります。

では、続いて、議題の22番です。文書保存等の整理に関することです。

こちら学校のかかなり専門性が高い部分になりますので、学校の職員を中心に

作業は進めていっていただく必要があるかというふうに思っております。ただ、学校で保管している歴史的なものであったりとか、寄贈物であったりとか、また優勝のトロフィー等々がいろいろ各学校にあるかと思えますけれども、そういった記念品、もしくは生徒の卒業制作みたいなものも各学校にあったりすることがありますけれども、そういったものをどのようにしていくのかというようなことの検討もここに入ってくるかなと思います。全てを新しい学校のところに持っていくというだけのスペースがある程度ということであればいいんですけども、各校からもすごくたくさんあるよというようなリストアップがされてきたときに、それはやっぱり全部何とかならんのかというようなことですか、そうではなくて、一部のものについては、例えば地区の施設みたいなどころに保管というところを作るということも考えられるのではないかなというようなことも含めて、皆様の意見をいただく必要が出てくるかと思えます。

いずれにいたしましても、各学校でどのような歴史的資料とか、寄贈物とかというようなものがあるのかというようなことを、まずこれも把握をしていかないと先に進まないということで、そういったところのリストアップをした後のところで検討がスタートするのではないかなと思っております。

こちら多分夏休み頃を使わないと、学校のリストアップが難しいと思いますので、検討するのが夏休み後の部会になるかと思っております。

議題23、予算計画に関することです。

予算計画に関することにつきましては、恵那市が持っている学校を運営する予算の部分と、旅行費ですとか、学習費ですとか、保護者の皆さんから徴収する学校徴収金の大きく分けて2つの予算がありますけれども、学校徴収金については、教頭部会のほう、教頭先生方が集まる部会のほうで、各校の状況等を把握していただいているところがございます。今後そういったところで調整を行っていきながら、新しく統合をしたときに、どのような徴収の仕方になるのかというようなことについて、提案していけるように思っております。

特に、学校徴収金については、保護者の方から集めるお金ということになりますので、皆さんにも確認をいただきながら進めていきたいというふうに考えております。

こちら多分、先日教頭先生が集まったときには、全くゼロにしてスタートしてしまうと、部活のスタートのときのお金が結構かかるということで、全くゼロで集まってるところはちょっと難しいかなというようなこととかも、もう既に意見として出始めておまして、そういったところについて、またご意見頂くことになるかなと思っておりますので、いろんな途中経過のところについて報告させていただきたいと思っております。

以上で、教育活動事務部会の議題の進捗状況ということでお伝えさせていただきます。

きました。多くは、昨年度の最後の第6回のときの報告の内容と重なるかと思えますけれども、最初にもお伝えしましたように、この会での意見について、学校統合実務推進委員会という先生方の組織のほうにお伝えして、具体的な学校教育に関わる計画の作成ということで案の作成を進めていただいております。今後の計画の具体を図っていくとともに、こちらの部会では、それを基にしながら確認をしていったりですとか、必要に応じて皆様からの意見を伺っていききたいというふうに考えているというのが、今年度の大きな方向になるかと思えます。

以上で、課題整理シートの確認を終わらせていただきます。私からは以上です。

副部会長 ありがとうございます。何かご質問等ございますでしょうか。

委員 すみません、課題以外でいいですか、質問で。

副部会長 はい。

委員 上矢作の〇〇です。子供たちが統合した後の空き校舎が出るんですね。それは、多分この検討じゃないと思うんですけど、それはどこでどのような形で検討されるんでしょうかという、これ質問です。もし分かる範囲で教えてください。

事務局 このことについて、まだどこでというようなことも含めて検討中というふうで聞いておりますので、そういったご意見があったということを伝えることはできますけれども、ちょっと自分のほうから回答するというのは、今ちょっと難しいかなと思います。

委員 失礼しました。ありがとうございます。

副部会長 そのほかよろしいでしょうか。

委員 ……市有財産だけど。

事務局 全くどこで検討するかということは決まっていないんですけども、地域のほうで使っていただいたりですとか、場合によっては取り壊してしまったりとかというような、いろんなことが考えられる。一律でこういうふうというふうでは決まっていけないという回答でしたけれども。

委員 放っておくとすぐ草ぼうぼうになっちゃうのもったないなど。

事務局 そうですね。

委員 これ上矢作が国道もあるし川もあるし、すごくいい建造物だなと。

副部会長 どうぞ。

委員 今年からで本当に分からないことばっかで、こんな質問をするのは情けないですけど、先ほどの大学の教授の話の中で、今日の総会では部活動とかに関してのそういう会議の内容だったんですけど、一番大事なところは、教育課程とか教育内容だとか、一番最初はここだというような話で、最後詰めるのはこれからだみたいな話があったかと思うんですけど、これまでの会議の中で、そういった理想とか理念とか、そこにどうやって向かっていくかというようなことがも

う検討済みで、総会でも承認を受けた上でのこれも総会ということによろしかったですか。

事務局 教育課程のところですかね。教育課程のところについては、3ページのところになりますけれども、地域を知り、地域を愛する生徒を育む教育活動ということで、こういったところについては、やっぱり外さない取組、計画にしてほしいというようなことを検討していく、学校側に伝えていきたいと思いますということで、この部会のほうでは話が出て、それを基にして、じゃあ具体的などんな計画をといるところも今つくっていきこうという段階なので、まだそこについての総会での決という案まで来てない。そこは、今、今年つくっていくところで、つくっていくたたき台を、もうこちらの部会だけではつくっていけないので、やっぱり学校内部のことなので、そこの基本的な理念となる地域を知り、地域を愛する生徒を育む教育活動というのをお願いしますというところについては、こちらで話し合われて、そういったことを基にしながら進めていくということです。例えば、先ほどもお伝えした、総合的な学校の時間みたいなどころの中で、必ずその5地区の特徴みたいなどころがありますよね。そういったところを、やっぱりないがしろにしないというか、どこの地域のどんな伝統も大事にするような、活動が入るようなものになっていってもらえているかというところについて、学校側でこんな感じだというふうで、今、具体的な案を進めていっていただきながら、それに基づいたものを出していただいて、総会にかけていくという流れですね。

委員 基本構想というのは、多分引き継ぎ部分の中に入っているように見えるか。

部会長 基本構想というのが、令和5年9月に出て、それは承認されておるということで、その中に、未来をつくる、人とつながる、地域と歩む、という大きなこの理念を基に学校をつくらうということは、はっきりしておるということですので、この理念に沿って具体的なもの、案をつくっていくということになるということでございます。

委員 ちょっといいですか。今の方の意見、僕はすごく賛成で、さっき福地さん（アドバイザー）が言われたみたいに、新しい学校の中身が大切と言われたんですよ。この新しい学校を卒業すると、子供たちはどんな力がつくか。今度の新しい学校を卒業すると、1人で海外旅行ができる子が育つ、あるいは、いつも読みかけの本を持つ子ができるとか、そういう教育の中身のことが、この学校の特色は何なんだろう。そこら辺にある、そこら辺にあるなんて失礼ですけど、普通の学校というか、今の提案聞いていると、結局、調整調整と言っているだけ、5つの学校を調整して、問題なくやりましょうねと言っているだけだよ。これ基本構想の話出ましたけど、基本構想が出たのが9月で、この課題シートを作ったのは5月なんですよ。だから。この課題シートって、本当に課題の深

掘りがしていないというか、いわゆる一般的な統合のやり方が書いてあるだけであって、新しい学校の、さっきから理念といいますか、今度の学校は一言で言うとどんな学校なんだということが根本にないので、事務的というか、調整しとる、調整しとると言うんですよね。

すみません、長しゃべりですみませんが、私たちは、学校のことを直接知らないで、この教育課程ということで、統合の方針を見ると、こういう子供つくりたいと言うんですよね。表現力の源である国語力をつけた子がつくりたい。だから、読んだり書いたりすることが好きな子が育っていくとか、インバウンドを見据えた英語力の向上等を柱にしていきたいとか。学習は、課題解決的な学習を進めたい。要するに上から先生が教え込むんじゃなくて、子供たちが問題意識を持って課題を見つけたり、解決したりするような力をつけたいとかいうのが中身だから、そういうのをどのようにつくっていくかということについて、実務推進委員会ですか、先生方の会議の中で、こちらから提案することじゃなくて、こんなふうにやりたいよというふうに私たちに言ってくだされば、私たちも、ああそれはいいことやとか、ちょっとおかしいんじゃないとか言えると思うので、私たちが提案するとか意見を言うというのは難しいかなと思うんですよね。

部会長 そのとおりと思います。最初に私が言いましたが、具体的なもので提案していかないと皆さんも意見を言いにくいので、この理念は頭に描きながら、そこからもうちょっと切り込んで、海外旅行に1人で行ける子にどの子もしますよというような、みんなのイメージが湧きやすい何か具体的な学校教育目標なり、それに基づいた教育課程の目玉なんかをお話ししたいなどは思っております。

事務局 とかく細部に入っていくと、最初のこれを忘れがちになっちゃうんですね。先ほどの大学の先生は常にここに立ち返ってやってくださいと、そういうご指導だと思わすけれども、やりながら、またここに帰りながらやっていけば、理想の学校になるように近いていくんじゃないかなと思うんですけども、そこを意識してやっていただければ、どうですかね、この会でも。

委員 先ほどのお話にもあったんですけど、私、この地域の説明会に出させていただいて、初めて市長さんのお話を聞く機会が持ててすごくよかったんですけど、私、その中で、すごく施設の充実だとか、新しい校舎を作ることにしてはすごく夢が詰まっています、ただ、そんなところではなくて、本当に全国的にも稀な、すごい広い地域での5か町村の統合というところで、ここでしかできないような目玉って何ですかということをお聞きしたんですけど、お答えいただいたのが、地域の拠点校をつくること。今多分、各地域のコミュニティセンターで地域拠点地をつくることを、それが今までにないことだとご説明をさせていただいて、何かそこが目玉なのかなとすごく不安に思いました。

そうではなくて、教育内容とか、そういった中で、ここでしかできない内容が含まれていると、すごくああそうかと思うんですけど、何かそこを出されるとちょっと違うんじゃないかなと感じてしまったので、ここの部会の中でそういったことがもっと理解できればありがたいなあと思いました。

事務局 そういったところを今年度どんどん話を進めていっていただきながら、最終版ではなくて、途中段階のところも、情報を提供させてもらいながら、そういう方向で進んでいるんだというようなところを皆さんに理解していただいて、また、それぞれの代表で来ていただいておりますので、こんな方向で今話進んでいるらしいよというようなところも広めてもらいながら、ちょっとでも子供たちですとか、保護者の方々にそういった安心できるというか、楽しみにしていただける材料が提供していければと思いますけれども。

どんな内容が出てくるかというところについては、今の段階ではまだちょっと言えないですけども、その話合いをしていきたい。

委員 すみません。各地区の伝統芸能とかを、そういうのをやるというのは、伝統芸能とかをするのは、その土地、明智なら明智、串原なら串原、その場所に行くんですかね。1クラスで山岡の教室で、各それぞれを見るんですかね。

事務局 そういった細かなところについては、まだ何かもうそういったものが話し合われているということではなくて、それぞれの地区のことを大事にしていってくださいなということについては、そういったものを大事にした計画を進めていってくださいなというようなことについては提案をさせてもらっているので、それに基づいて、今年じゃあ今言われたような、どんな形でどんなふうな取組をしていけるんだろうかというふうなことについて検討をされていって、その途中経過も、また、ここの部会のほうに報告をさせていただくということなので、まだ何かそういった形が決まっているわけではないんですけども。

委員 あと先ほどのスローガンみたいなもの、ズームの先生も言われたとおり、先ほどの振り返り、明るく何とかという、スローガンというものは毎回ないので、（「これをね」と呼ぶ者あり）うん、毎回つけてほしいかななんて思うんです。だから、やっぱりそれってないとロードマップができないし、これのように、もうさらに細かいことが決められないので、ただでさえ、正直に言うと、決裂することもあるじゃないですか。それで、2年に間に合わないとは私は思っています。このめっちゃ多い問題を2年で解決するのは、まず無理だと思っています。それをいかにすり合わせて、2年後という開校時期だけが決まっているので、あと何が決まっているのという話で、ちょっと無理な計画かなとは思っています。

資料としては、そのスローガンをやっぱり全体的に表紙でもいいわ、1ページにやってくれないと、私としてはちょっと毎回忘れちゃうたちなので、ちょっ

とスローガン、同じバシッと決めるようなスローガンが表紙となれば、全体的な意見も問題も見えるべきかなとは思っています。以上です。

副部会長 ありがとうございます。そのほかよろしいでしょうか。

委員 福地さんが言った理念は、これのことではないよ。こんな大きな理念では、ロードマップなんか作れないというか、もっと具体的にどういう学校にするかという学校像でないと、これ未来を創るとか、人とつながるとか、地域と歩むとかあるけど、これ今日も見たんだけど、十六銀行へ行くと、人と、地域と、未来をつなぐ十六銀行って書いてあるね、十六銀行ホールディングスかな。今もどこでも大体会社とかいろいろは未来のことを考えてるし、人とつながることを考えてるし、地域の人と一緒に歩むことは考えておるんだもんで、これをもって学校の理念とは言えん。こんな一般的なことでは迫っていけないと思うけどね。もっと具体的にみんなが一致するような理念でないと。

それは、実務推進委員会に任せるんじゃなくて、教育委員会が基本構想を書いておるんだもんで、この基本構想のことをもっと具体化するような、さっきも言ったけど、最先端のICT環境の整備をするとか、具体的に書いてあるね。表現力の源である国語力の向上をするとか、どうやって国語力を育てるかとか、そういうことをみんな共通目標にして、学校の教育課程の中で、毎日作文の時間を朝の会とかにやるとか、そういうようなことを考えていかないと、何かいつまでたっても絵に描いた餅だよ。

事務局 どこでそれが検討するのかというところについて、今ここで伝えることはできないですけども、そういったご意見だということについては、どこかでもう少し具体的なものになっていくように話を進めたいと思っています。

事務局 ほんでも、あんまり細かいとこまで決めちゃうと、その学校の経営方針というのは、やっぱり学校長が決めるので、決まったところへ行った校長先生は人形みたいなもので、行って生徒の実態をよく見ながら教育計画をつくると。なので、連休明けぐらいが提出期日になっていますね。だから、新しい学校の校長先生の経営方針も十分反映できるような、そういうような路線を引いてやらんといかんかなと思うんだけど、ここで全部決めちゃってね、あれもこれも細かいとこまで、ある程度余地を残す部分があってもいいかなとは思っています。

もちろんこの会議は大事ですよ。大事で、こういう学校をつくりたいというイメージを持つことは大事なんだけど、運営の責任者は学校長ですので、校長先生の意図も入らんといかんと思うんです。その部分を残してやらんといかんかなというふうに思います。

委員 それで、去年、学校長の責任が結構大きいので学校の場合、今年から新しい中学校の校長の連絡先というか、統合に向けて、5校のうちのどこかの中学

校の校長が事務局長になる的な話を、去年この部会でされていましたが、それはどうなっているのか。

事務局 先ほどの実務推進委員会のところの校長部会がありますので、その5校の校長先生方の中の中心になっていただくのは、山岡中学校の後藤先生です。

委員 ということになったんですか。

もう一つ言うと、やはり校長が僕もすごく大事ですし、荷もすごく重いので、8年度スタートで、その校長という発表は遅過ぎるんじゃないかなというか、もっと前もってこの人に校長お願いするという、何かそういうロードマップが作れないかというのと、やっぱりその方と私たちは議論したいというか、その方が目指す学校ってどういうのかを知りたいですというのが、今1つ意見として。

委員 今、思ったんですけど、スローガンが決まってないから、魅力ある統合したいっていう学校が今つukれないんじゃないですか。まずいろんな意見があって、いろんな小学校とか中学校に、明るく未来に羽ばたこうみたいな、そういう新しい学校に対する今魅力がすごくないんです。やっぱりそういう魅力のあるスローガンから作るべきじゃないでしょうか。ちょっと魅力度が足りないかな。新しい学校は、構想とかは、構造とかはすごくこの間の集合のチラシ、市長が来たやつに行ったんですけど、すごく魅力的だったんですけど、いまいち魅力がないんです。そのバシッと決めるスローガンたるものがないんだと思って、今度全員で話してみてください。どんなのが出るか全部出したら、それで、そのスローガンをうちは保護者が決めたらいいじゃないですか。

事務局 全部というのは。

委員 例えばどんな学校にする、世界に羽ばたける生徒をつくるとか、いろんなことに対応できる生徒をつくるという、いろんなスローガンあるじゃないですか。校舎の横断幕に掲げられるようなスローガンが今ないじゃないですか、表紙がないように。だから、魅力的、こんな細かいことを決めようと言っても、いまいちイメージが湧かない、魅力がない。だから、まずはスローガンから決めたらどうですか。

事務局 それは、学校の教育理念みたいなものとは違う、統合についてのスローガン。

委員 統合、新しい学校のスローガンですね。どこどこを目指そう、どこどこを目指せる生徒になろう、学校になろう、でも、行く行くはなくなるんだけどね。私は、名が嫌いだもんで、あんまり、その、統合については反対ですけど。新しいものをつくるものに対しては、魅力を出すためにスローガンを作るべきだとは思っています。

事務局 この部会のスローガンじゃなくて全体のですもんね。

委員 はい。今の全体的でも、スローガンも何もないじゃないですか。細かい校舎が

どこどこで、図書がどこどこで、伝統芸能が何々でという細かいとこだけを持って。先ほどズームで言われたような、やっぱりロードマップのスローガンがないと、やっぱりこちらとしてはちっちゃい疑問、文句も解決できないじゃないでしょうか。

部会長 私も教育に携わるとか、そういう立場じゃないので全然分かんないんですけど、ただ子供はかわいい、自分の子が世界一かわいい、それだけで言っているの。統合実務推進委員会は、今のようなことを具体的にしていって提案できるようにしていくという会なので、私がそこの校長部会のトップなので、今の要するにスローガン、学校教育目標というものが具体的に変わったものをやっぱりお示ししないといけないなというのはずっと思っています。

委員 幾つ出るかはしれないですけど、選ぶのは、保護者会、保護者全員参加できれば、投票制で、してもいいかなと思います。

委員 後藤校長先生にお願いしたいんですけど、新しい学校の魅力というと、今ある学校以上に子供たちが活躍するというか、生き生きと学べるということが大事だと思うんですね。そういう点でいうと、例えば教育課程の中でグループ学習なんかをもっとたくさん入れてもらって、小さな学校の子供たちも、大きな学校の子供たちに負けないように、やっぱり小さな小集団の学習形態みたいなのを授業の中で取り入れてもらうとありがたいかなということを思います。それから、教材備品のことも、これから調整があると言いましたけど、今度の新しい学校は、特例的に考えていいというふうに事務局は言われましたけど、いいですかね。恵那市の学校の基準に合わせなくて、例えば、5校の顕微鏡がたくさんあるわけですので、その顕微鏡は学級に4台って決まっておるんですけど、今度の学校は8台残せばええだけのことで、みんな持っているもんね、今の学校は。だから、教育委員会の整備基準以上に持って、子供たちに触れる機会というか、学習する機会が増えれば、小さな学校の子供たち、今まで十分にミシンも触ったりいろいろやったと思うんですけど、それが今度減っちゃうんですね、学級に4台とか決まっておれば。だから、そういうのはいいとか言って、教育委員会は言っていたような気がしますが。

図書館の本も、図書標準でというので決まっているけど、別にそれ以上持ってもいいわけでしょう、捨てちゃわんでも。同じ本ばかり持ってもしょうがないけど、だから、何か大きな学校になると、どうしても活躍するというか、子供の出番が減っちゃうと思うんですね。そういう、大きな学校になっても、小さな学校の子供たちも今までと同じように十分教材に関わったり、教務に関われる、ALTなんかどうなるんですかね。今は小さな学校でもちゃんと来ますけど、今度1校になってから1人とかになったらすごく減っちゃいますよね、機会が。恵那市の基準でやったら、だから、今度の学校は、ALTはちよ

っと東中の4倍とか。

委員 3人くらい欲しくないですか。

委員 それはちょっと私は分かりませんが、ただ1校というふうにカウントしちゃうと、やっぱりそういう機会が減っちゃうんですね、話す機会が。だから、今小さな学校のよさも、大きな学校に引き継いでいけるような、スローガンとして小さな学校のよさと大きな学校のよさを合わせ持つような学校というか、そういう学校の教育課程を考えてくださるとありがたいかなと。

副部長 その他どうでしょうか。では、時間ももう大分たっていますが、今日はこのぐらいでよろしいですかね。まだ言い残したことが。

委員 すみません。これ私には判読不明なんですけど、お忙しい中で作られたものかなと思います。これ何のために今日出されたんですか。しかも、これ3ページに歴史年表みたいに貼り合わせてもいいですので、そうやって読めるやつにしてくれませんか。

委員 もうちょっと拡大がいるかな。

事務局 一応それぞれの検討事項の、いろいろな段階でのタイムスケジュールみたいなものを示せたほうがいいのではないかとということで、これを昨年度使ったということで、最初のところで1回出そうかということで準備をしたんですけども、確かに、印刷にかけてみたら読みにくくなっているというのは確かでしたので、すみません、配慮が足りませんでした。また何か読みやすい形でお渡しできるようにしたいと思います。

副部長 では、すみません。次回のこの部会についての開催日等々の決定については、これは案として、いいですか。

事務局 もしご意見があればあれなんですけども、案としてですけれども、先ほどもお伝えしたように、今各学校のほうでこちらに示していただく実務推進委員会のほうの話合いのほうが始まったところで、例えばこれは6月とかにやっても、まだその話合いができていない段階で集まっても同じことになってしまいますので、そう考えると早く7月末ぐらいのところ、例えば夏休みにどんな作業をしようと思ってみえるのかということであったりとか、そこまでにどんな話合いがされたのかというようなことをするぐらいまでは、ちょっと時間が必要のかなというふうに思っています。

会場としましては、変わられた方も結構あって、去年1回目のときは山岡中学校のほうでやらせていただいて、校舎の中なんかを見ながらこの会を進めたというふうなことも聞いておりますので、また次回の会については、そういった会場でどうかなというようなことを事務局案としては思っておりますけれども、またそのところについて、何かご意見があれば決めていただければと思いますけれども。

副部会長 今、事務局のほうから7月末をめどにというふうで案が出されましたが、どうでしょうか。次回のこの会議ですが、よろしいですか。では、詳細については、また事務局のほうから連絡が行くということで、会場は山岡中学校をというような方向でということよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

副部会長 では、レジュメにある本日の議題全て終わりましたが、よろしいでしょうか。

部会長 最後のほうに、いろいろ本当に具体的な話に、〇〇さんがおっしゃってくださるように、具体的になってくると意見が言いやすいですね。ああいうふうに、何を指すところという事業になるとか、こういう事業をするためにはこういう活動を入れたいと、そういうような話になってくると話がしやすいと思いますので、今度はそういう提案ができるように、推進部会のほうで詰めていきたいと言って、皆さんに提供させてもらいたいと思います。以上です。

副部会長 では、これもちまして、教育活動学校事務部会のほうを閉じさせていただきますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、終わりたいと思います。ありがとうございました。